

社会福祉法人 芙蓉の家 令和元年度 事業報告書

令和元年度におきまして、当法人が実施いたしました事業実施の概要は次の通りでありましたので御報告致します。

1. 運営

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

- (イ) 障害福祉サービス事業の経営 (就労継続B型 松永作業所)
(就労継続B型 徳島作業所)
(共同生活援助 びすけっと)

(ロ) 特定相談支援事業の経営 (さぼーと)

(ハ) 老人デイサービス事業の経営 (さぼーと、みらくる)

(2) 公益を目的とする事業

(イ) 居宅介護支援事業 (さぼーと)

(3) 収益を目的とする事業

(イ) 自立支援型共生ホーム (さぼーと) の設置経営

2. 事業計画の実施状況

A. 法人全体としての取り組み (継続事業)

①情報公開

機関紙を1・5・7・9月に発行しました。ホームページも状況にあった一部修正を行いました。トピックスとして各事業所の決算書・行事・イベント等を掲載し、その都度公開しました。

②法令順守

年一回の勉強会は実施せず、日々の行動や発言等に法や制度等を守ることの重要性やそれが適正かつ信頼のおける事業運営に繋がっていくことを発信した。それによって、職員の意識を高めることが出来てきているように思います。

③規程の見直しと制定

理事会において規程等の全面または一部改正の提案を行い承認していただきました。

また、各規程とも年度末に実施する職員全体会議にて周知をしました。今後も適正に運用します。

④自主的内部検査

1月に松永作業所の利用者を対象とし、福祉サービス第三者評価表（サービス編：障害分野 利用者版）を使用して評価を行った。シートに沿って内容を個別に利用者を確認し利用者の認識を職員が確認できた。今後の支援に役立てることが出来ると思われる。

⑤人材確保

担当職員はSNS（ソーシャルネットワークサービス）の活用や学校主催の求人説明会へ参加するなど頑張っている。しかし、依然として厳しい。全く歯が立たない。見通しが立たない。など新卒者の希望はない。人材紹介会社等に依存しているのが現状で、ギリギリのところでは何とか人数がそろっている状況です。

B. 各事業所での取り組み（継続事業）

利用者が喜んでいただける事業所にするために次のことを実施しました。

①4S（整理・整頓・清掃・清潔）運動

11月を4S運動月間とし随分と定着化してきた。各事業所で4Sチェック表をもとに大掃除を行いました。全職員真剣に取り組んでいただき、整理整頓も含め環境整備を行うことができました。

②職員の資質向上

平成30年度は社会福祉士のライセンスを取得した職員が1名おり、資格取得に対して報奨金を支給し、給与規程等に沿った経済的な支援、人事考課の評価対象にもしました。引続き多くの職員に色々な資格に挑戦していただきたいと考えます。施設外の研修については、研修資料を回覧し受講希望者については参加の支援を行った。

③収支の確認

運営責任者・管理者にリアルに年度中期より資金収支計算書等にて収支確認を実施した。現状を理解し対策等を図るよう促した。一般職員にも情報の公開はした。

C. 施設整備事業と修繕事業（新規事業）

①障害者グループホームの整備

まつなが総合生活支援センターさぼーとの空間敷地に国庫補助金をいただいてグループホーム定員7名、ショートステイ定員1名の施設整備を実施完了した。自己負担金も社会福祉充実残額を充て支払いも完了した。

②社会福祉充実計画の変更

今年度の国庫補助事業としてグループホームの整備を実施し社会福祉充実残額にて支払いを行った。よって、当初の2021年度までの社会福祉充実残額を使用した社会福祉充実計画を2019年度の世界福祉充実計画に変更し福山市の承認も頂いた。

3. 運営の実施状況

(1) 理事会

①日時 2019年 6月10日 午前10時00分 ~ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 5名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 平成30年度本部・施設（松永作業所・徳島作業所）・居宅介護支援事業・通所介護事業（さぼーと・みらくる）・自立支援型共生ホーム・相談支援事業・共同生活援助事業の事業報告書(案)と平成30年度法人全体・事業区分（社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分）・拠点区分（法人本部拠点区分・高齢拠点区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分）の財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)の承認について
- 第2号議案 社会福祉充実計画の変更と変更にかかわる今後について
- 第3号議案 役員の任期満了に伴う候補者の推薦について
- 第4号議案 評議員会の招集について

②日時 2019年 6月24日 午前13時00分 ~ 午前13時20分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 理事長の任期満了に伴う改選について
- 第2号議案 新しい資金運用責任者の選任について

③日時 2019年 9月 5日 午前10時00分 ~ 午前11時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 5名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 共同生活援助施設整備における設計管理委託業者の契約方式、指名業者数等での入札実施と落札決定業者との即日契約等の報告承認について
- 第2号議案 共同生活援助施設整備における施設建設工事の請負業者の契約方式、指名業者数等での入札実施と落札決定業者との即日契約等の実施についての承認について
- 第3号議案 苦情解決の第三者委員の選任について
- 第4号議案 嘱託職員就業規則（案）、公印管理規程（案）の制定について

④日時 2020年 1月16日 午前10時00分 ～ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 共同生活援助施設整備における施設建設工事の請負業者の決定報告について
- 第2号議案 経理規程（案）、パートタイマー等就業規則（案）、パートタイマー等給与規程（案）、慶弔規程（案）、給与規程の別表Ⅱ・Ⅳ・Ⅵ（案）、資格取得支援要綱の支援金支給一覧表Ⅱ（案）、昇格・昇進等規程の職位・職務内容（案）、就業規則（案）の一部変更と職責・業績評価実施要綱（案）の制定について
- 第3号議案 共同生活援助施設整備における支払いについて

⑤日時 2020年 2月27日 午前10時00分 ～ 午前12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 2019年度の補正予算（案）の承認について
- 第2号議案 2020年度事業計画（案）及び資金収支予算（案）の承認について
- 第3号議案 評議員会の招集について

⑥日時 2020年 3月19日 午前10時00分 ～ 午前11時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

理事総数6人 内 6名出席、監事総数2人 内 2名出席

審議事項

- 第1号議案 職員就業規則(案)、経理規程(案)等の一部改正と職務分掌表(案)の制定について
- 第2号議案 人事異動について
- 第3号議案 グループホームさぼーとの入所基準の設定について
- 第4号議案 グループホームさぼーとの入所判定について

(2) 評議員会

①日時 2019年 6月24日 午前10時00分 ~ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

評議員総数7人 7名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 平成30年度本部・施設(松永作業所・徳島作業所)・居宅介護支援事業・通所介護事業(さぼーと・みらくる)・自立支援型共生ホーム・相談支援事業の事業報告書(案)と平成30年度法人全体・事業区分(社会福祉事業区分・公益事業区分・収益事業区分)・拠点区分(法人本部拠点区分・高齢拠点区分・障害拠点区分・相談拠点区分・入所拠点区分)の財産目録(案)、貸借対照表(案)、収支計算書(案)の承認について
- 第2号議案 社会福祉充実計画の変更と変更にかかわる今後について
- 第3号議案 役員任期満了による改選について

②日時 2020年 3月 9日 午前10時00分 ~ 午後12時00分

会場 障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

評議員総数7人 7名出席、監事総数2人 2名出席

審議事項

- 第1号議案 2019年度の補正予算(案)の承認について
- 第2号議案 2020年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)の承認について

報告事項〈役員研修〉

広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター主催で1/30に「社会福祉法人理事・評議員研修」、1/31に「社会福祉法人監事研修」が行われ理事 井出和人と監事 堀部弘幸が参加した。別紙資料において報告がされた。

(3) 監事監査

2019年 6月 3日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

監事2名全員出席

審議事項

平成30年度本部・就労継続支援B型事業・居宅介護支援事業・相談支援事業・通所介護事業・収益事業の決算報告(案)、事業報告(案)と財産目録(案)、社会福祉充実計画の確認と監事監査チェックリストに沿った監査

(4) 内部監査

2019年 6月 3日

障害福祉サービス事業所 松永作業所 多目的室

石川 美鈴 理事

審議事項

経理規程に沿った会計処理の監査

(5) 報告事項

◎ 指導部

I. 松永作業所

〈親善行事〉

- (1) 5/26 東部親善球技大会がびんご運動公園(尾道市)で開催され30名が参加した。
- (2) 7/3 松永小学校5年生3クラスが総合学習のため来所した。
- (3) 7/13 わいわいフェスタまつながを松永作業所にて開催した。
- (4) 9/15 第26回ゲタリンピックに33名が参加し下駄飛ばしの競技等に参加した。
- (5) 11/7 沼隈体育館にてはなお主催の利用者交流会(風船バレー)に10名が参加した。
- (6) 2/25 地域貢献活動協議会が行われ、17名の施設関係者が来所した。

〈施設行事〉

- (1) 10/25 呉・大和ミュージアムへ日帰り旅行を徳島作業所と合同で行った。
- (2) 2/3 節分の豆まきを行った。

〈健康診断〉

- 3/4 利用者46名の中国労働衛生協会によるX線検査を行った
- 9/9 身体測定等を行った

〈自治会・クラブ活動〉

5/25、 7/ 6、10/26、10/19、11/ 2、12/21

〈グループ別活動〉

3/ 2、 3/16 (一日作業)、 4/ 6 (花見会)、 4/20
(一日作業)、 4/27 (半日作業・誕生日会)、 5/11 (半日作業)、
5/18 (誕生日会)、6/ 1 (誕生日会)、 6/15 (一日作業)、
6/29 (ドライブ遠足)、7/ 6 (七月会・誕生日会)、 8/ 2 (半
日作業)、 8/10、8/17 (かき氷・ガリガリ君を食べる会・レクミ
ニコンサート、誕生日会) 8/31 (ドライブ遠足)、 9/ 7 (コン
サート、誕生日会)、9/21 (一日作業)、10/ 5 (誕生日会)、10
/19 (一日作業)、11/2、11/16 (一日作業)、12/21 (半日
作業・誕生日会)、12/28 (大掃除・忘年会)、 1/ 4 (初詣、初笑
い会、餅つき雑煮会)、 1/11 (誕生日会)、 1/ 4 (初詣・初笑い
会、餅つき、雑煮)、 1/11 (誕生日会)、 1/18 (1日作業・就労
支援セミナー)、 2/ 1 (誕生日会)、2/ 8 (1日作業)、 2/
22 (半日作業)、

〈就労支援セミナー〉

4/ 6・20、 5/ 9・23、 6/15、 7/18、 8/27、
9/21、11/16、12/19、 2/ 8、

〈施設実習〉

(1) 7/10

福山明王台高校3年生1名が福祉体験に来られた。

(2) 7/29~8/ 2

広島県立総合技術高等学校2年生2名が就業体験を行った。

(3) 8/ 8~22

広島県立大学2年生2名が福祉実習を行った。

(4) 8/20~22

チャレンジウィークふくやまで大成館中学校2名が体験実習に来られた。

(5) 8/23~ 9/ 3、9/ 4~13

広島県立大学2年生が2名ずつ福祉実習を行った。

(6) 9/ 2~20

広島県立大学3年生1名が福祉実習を行った。

(7) 9/2～6、9/30～10/4

介護等体験で福山大学3年生が2名ずつ実習を行った。

(8) 11/21

大成館中学校1年生が福祉体験で19名が来られた。

〈避難訓練〉

6/5 (徳島作業所と合同)、6/19 (防犯訓練)、11/12 (徳島作業所と合同)、

〈職員研修〉

施設外

3/1

「2018年度 第2回健康保険委員研修会」

全国健康保険協会 広島支部

ふくやま芸術文化ホール

会計責任者

3/12

「平成30年度第2回広島県知的障害者福祉協会総会・研修会」

広島県知的障害者福祉協会

ホテル広島ガーデンパレス

管理者

3/18

「福山福祉専門学校 卒業証書授与式」

福山福祉専門学校

福山ニューキャッスルホテル

統括

3/20

「福山市立松永小学校 卒業証書授与式」

福山市立松永小学校

福山市立松永小学校 体育館

統括

3/24

「福祉・介護の「就職面談会」&「学校ガイダンス」

福山市社会福祉協議会

福山ニューキャッスルホテル

出納職員

3 / 27

「平成30年度 広島県東部地区親善行事実行委員会反省会及び

平成31年度 広島県東部地区親善球技大会打ち合わせ」

広島県東部地区親善行事実行委員会

障害福祉サービス事業所 青葉

管理者

3 / 29

「一般社団法人 トータルライフサポートふくやま 総会」

一般社団法人 トータルライフサポートふくやま

福山すこやかセンター

管理者

3 / 29

「第2回 総会」

福山市障害者（児）施設連絡協議会

福山すこやかセンター

管理者

4 / 9

「福山市立松永小学校 第73回入学式」

福山市立松永小学校

福山市立松永小学校 体育館

統括

4 / 15

「社会福祉法人制度改革 事務担当者フォローアップセミナー」

全国社会福祉法人経営者協議会

岡山コンベンションセンター

会計責任者、出納職員

4 / 26

「福山市社会福祉施設連絡協議会意見交換会」
福山市社会福祉施設連絡協議会
福山ニューキャッスルホテル
管理者

5 / 15

「第1回合同施設長・管理者会議」
広島県知的障害者福祉協会 生産活動・就労支援部会
広島県社会福祉会館
管理者

5 / 29

「広島県知的障害者福祉協会 福山・府中圏域会議」
広島県知的障害者福祉協会
福山すこやかセンター
管理者

6 / 5

「2019年度はなお総会」
松永・沼隈福祉施設連絡会「はなお」
老人保健施設 かなえ
生活支援員

6 / 19

「一般社団法人 トータルライフサポートふくやま 総会」
一般社団法人 トータルライフサポートふくやま
福山すこやかセンター
管理者

6 / 19

「社会保険事務説明会」
日本年金機構広島広域事務センター
しまなみ交流館
会計責任者

6 / 24

「福山大学留学生対象合同企業説明会」

福山大学 学務部就職課

福山大学 大学会館

出納職員

6 / 27

「食品衛生責任者養成講習会」

福山食品衛生協会

福山すこやかセンター

生活支援員

6 / 29

「2019年度障害のある人たちの働き方を支えるセミナー」

(社福) 創樹会ほか4つの社福が発起人

リムふくやま

生活支援員

7 / 1

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

福山市障害福祉課

福山市まなびの館ローズコム

管理者

7 / 4

「福山市障害者(児)施設連絡協議会 総会」

福山市障害者(児)施設連絡協議会

エフピコR i mふくやま

管理者

7 / 27

「創立40周年記念式 ルネッサンスほんごう

竣工落成記念式典・祝賀会」

社会福祉法人みどりの町

フォレストヒルズガーデン

統括

7 / 28

「普通救命講習」

福山市消防局救急救助課

芦品消防署

生活支援員

7 / 30

「広島県相談支援従事者初任者研修の実施に係る
演習ファシリテーター研修」

広島県 健康福祉局

広島県庁本館

管理者

8 / 2

「施設長・管理者研修会」

広島県知的障害者福祉協会

福山市西部市民センター

管理者

8 / 7

「広島県東部地区親善スポーツ大会打ち合わせ」

広島県東部地区親善スポーツ大会事務局 春日寮

障害福祉サービス事業所 青葉食堂

生活支援員

8 / 20・21

「強度行動障害支援者養成研修」

広島県知的障害者福祉協会

広島県社会福祉会館

生活支援員2名

8 / 22・23

「福祉職員キャリアアップ研修（初任者コース）」

広島県知的障害者福祉協会

広島県民文化センターふくやま

生活支援員

8 / 27

「健康経営セミナー」
全国健康保険協会 広島支部
リーデンローズ
出納職員

8 / 28

「第1回福山・府中圏域支援スタッフ部会議」
広島県知的障害者福祉協会
大日学園
生活支援員

8 / 29

「第1回 研修会 私がひきこもった理由」
福山市障がい者総合支援協議会
リーデンローズ
管理者

8 / 31

「福山市地域福祉貢献活動協議会 研修会」
福山市地域福祉貢献活動協議会
福山すこやかセンター
管理者

9 / 3～5

「広島県相談支援従事者初任者研修演習」
広島県 健康福祉局
福山商工会議所
管理者

9 / 7

「社会福祉法人 創樹会 60周年記念式典」
社会福祉法人 創樹会
福山ニューキャッスルホテル

管理者

9 / 15

「広島県東部地区親善スポーツ大会反省会」
東部地区親善行事实行委員会
農家食堂ルオント
生活支援員

9 / 25

「決算書から読める法人経営の実態～健全経営の要点とは何か」
福祉新聞社
東京ビッグサイト
会計責任者、出納職員、デイさぼーと管理者

9 / 27

「感染症予防対策に係る説明会」
福山市障がい福祉課
広島県民文化センターふくやま
生活支援員

9 / 30、10 / 1

「強度行動障害支援者養成研修（実践研修）」
広島県社会福祉協議会
広島県社会福祉会館
生活支援員2名

11 / 15

「源泉所得税の年末調整及び軽減税率制度等の説明会」
福山税務署
ふくやま芸術文化ホール
会計責任者、出納職員

11 / 21、12 / 12

「地域ネットワークコミュニティ（雇用管理改善研修会）」
介護労働安定センター
まなびの館ローズコム

出納職員、デイさぼーと管理者

12 / 3

「ケアフード広島」
ケアテックスワン
広島産業会館
会計責任者、出納職員

12 / 4

「広島県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修
ター研修」 ファシリテーター
広島県 健康福祉局
広島県立総合体育館
管理者

12 / 18

「元気をはぐくむ、新任職員基礎研修」
広島県知的障害者福祉協会 人材育成・研修部会
育成会総合福祉センター
生活支援員

12 / 20

「福山・府中圏域会議」
広島県知的障害者福祉協会
リムふくやま
生活支援員

1 / 9～10

「広島県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者更新研修」
広島県 健康福祉局
広島県立ふくやま産業交流館
管理者

1 / 24

「介護技術基礎研修」
広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター

福山すこやかセンター
統括

1 / 25

「『障がいのある人たちの働き方を支える』を考えるセミナー」
創樹会等発起人会
福山市水呑交流館
生活支援員

1 / 30

「歩んできた道 私は、障害者である前に一人の人間としていきたい」
福山市障害者総合支援協議会 権利擁護支援部会
福山すこやかセンター
管理者

2 / 13

「広島県知的障害者福祉協会 福山・府中圏域会議」
広島県知的障害者福祉協会
パレットせいわ
管理者

2 / 18

「障がいのある方の就労パスポート 支援機関向けワークショップ」
福山公共職業安定所
エフピコRiM
生活支援員

2 / 25

「南・西部ブロック会議」
福山市地域福祉貢献活動協議会
松永作業所
管理者

II. 徳島作業所

〈健康診断〉

3 / 4 利用者8名の中国労働衛生協会によるX線検査を行った

〈施設行事〉

(1) 10/25

呉・大和ミュージアムへ日帰り旅行を松永作業所と合同で行った。

〈施設実習〉

(1) 8/20～22

チャレンジウィークふくやまで大成館中学校2名が体験実習に来られた。

〈グループ別活動〉

3/ 2 (半日作業)、 3/16 (誕生日会)、 4/ 6 (花見会)、
4/20 (誕生日会)、 4/27 (半日作業)、 5/11 (1日作業)、
5/18 (誕生日会)、6/ 1 (令和の書初め)、 6/15 (誕生日
会)、 6/29 (半日作業)、 7/ 6 (誕生日会)、 8/ 3 (半
日作業)、 8/17 (1日作業)、 8/24 (てんまや水族館見学)、
8/31 (誕生日会)、 9/ 7 (半日作業)、 9/21 (1日作業)、
9/28 (誕生日会)、10/ 5 (半日作業)、10/19 (1日作業)、
10/26 (誕生日会)、11/ 2 (半日作業)、11/16 (半日作
業)、11/30 (誕生日会)、12/ 7 (半日作業)、12/21 (誕
生日会)、12/28 (忘年会)、 1/ 4 (初詣)、 1/11 (半
日作業)、 1/ 4 (初詣)、 1/11 (半日作業)、 1/18 (誕
生日会)、 2/ 1 (半日作業)、 2/15 (一日作業)、 2/
22 (誕生日会)

〈避難訓練〉

6/ 5 (松永作業所と合同)、11/ 12 (松永作業所と合同)

〈職員研修〉

施設外

3/19

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」

広島県健康福祉局障害者支援課

福山市まなびの館ローズコム

管理者

6/ 4

「平成31年度発達障害支援基礎研修」
広島県健康福祉局障害者支援課
三原リージョンプラザ
管理者

6 / 14

「第3回定期総会」
福山市地域福祉貢献活動協議会
福山労働会館みやび
管理者

6 / 23

「普通救命講習」
福山市消防局救急救助課
福山西消防署
職業指導員

7 / 1

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」
福山市障害福祉課
福山市まなびの館ローズコム
管理者

7 / 22

「南・西部ブロック会議」
福山市地域福祉貢献活動協議会
特別養護老人ホーム むつみ苑
管理者

8 / 2

「食品衛生責任者養成講習会」
福山食品衛生協会
福山すこやかセンター
管理者

9 / 30

「ひきこもりについて精神科医師の視点から」
福山市保健所
エフピコR i Mふくやま
管理者

12/22

「研修」
福山市地域福祉貢献活動協議会
福山すこやかセンター
管理者

2/25

「南・西部ブロック会議」
福山市地域福祉貢献活動協議会
松永作業所
管理者

Ⅲ. まつなが総合生活支援センター さぼーと

〈デイ運営推進会議〉

3/22 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。

9/20 地域1名、利用者1名、利用者家族1名、地域包括1名で行った。

〈親善行事〉

(1) 10/29～11/1

松永小学校5年生3クラスが総合学習のため来所した。

(2) 11/7 沼隈体育館にてはなお主催の利用者交流会（風船バレー）に参加した。

〈避難訓練〉

11/12

〈施設実習〉

(1) 8/20～22

チャレンジウィークふくやまで松永中学校2名が体験実習に来られた。

〈職員研修〉

施設外

3 / 7

「福山大学合同企業説明会」
福山大学 学務部就職課
福山大学 大学会館
介護職員、出納職員

6 / 23

「普通救命講習」
福山市消防局救急救助課
福山西消防署
介護職員

7 / 1

「指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修」
福山市障害福祉課
福山市まなびの館ローズコム
相談管理者

8 / 6

「法令順守、倫理、個人情報・プライバシー保護
～「介護サービス情報の公表制度」制度対応～」
広島県介護支援専門員協会
福山商工会議所
ケアマネ管理者

9 / 13

「新人介護職員合同研修会」
広島県シルバーサービス振興会
県民文化センター ふくやま
介護職員

9 / 21

「相談支援研修」
広島県知的障害者福祉協会 相談支援部会
福山市ものづくり交流館
相談管理者

9/28、10/26

「チームの力を最大限に活かした課題解決の実践研修」

広島県社会福祉協議会

広島県社会福祉会館

デイさぼーと管理者

12/5

「第1回デイサービスセンター部会」

広島県老人福祉施設連盟

リムふくやま

デイさぼーと管理者

12/25・26、1/7～9、2/21

「広島県認知症介護実践研修」

ベイタウン尾道

広島県介護福祉士会

介護職員

1/14

「安全運転教育担当者指導能力向上講座」

福山西安全運転管理協議会

備南自動車学校

デイ管理者

1/17

「大規模研修」

福山西南部ケアマネジメント協議会

松永沼隈地区医師会保健福祉センター

デイ管理者

2/14

「福山市高齢者虐待防止啓発講演会」

福山市高齢者支援課

県民文化センターふくやま

ケアマネ管理者

2 / 25

「自立支援にむけたケアマネジメント研修」
福山市高齢者支援課
福山市役所
ケアマネ管理者

2 / 28

「業界説明会」
福山大学
大学会館ホール
デイ管理者、出納職員

IV. デイサービスセンター みらくる

〈運営推進会議〉

- 3 / 14 地域2名、利用者1名、地域包括1名、福山市1名で行った。
9 / 25 地域2名、利用者1名、地域包括1名で行った。

〈親善行事〉

- (1) 11 / 7 沼隈体育館にてはなお主催の利用者交流会（風船バレー）に参加した。

〈避難訓練〉

- 6 / 18 消防署立ち合いのもと実施した。
8 / 30 福山西消防署が消防点検に来た。
10 / 10 避難訓練を実施した。

〈実地指導〉

- 12 / 26 福山市介護保険課の実地指導があった。

〈施設実習〉

- (1) 8 / 20～22

チャレンジウィークふくやまで大成館中学校2名が体験実習に来られた。

〈職員研修〉

施設外

6 / 5

「2019年度はなお総会」
松永・沼隈福祉施設連絡会「はなお」
老人保健施設 かなえ
介護職員

7/30

「はなお 役員会」
松永・沼隈福祉施設連絡会「はなお」
松永作業所
介護職員

1/31

「クレーム対応力向上研修」
福山市介護保険課
福山市役所
管理者

V. グループホームびすけっと

〈施設行事〉

6/22 利用者4名と福山市立福山動物園に行った。

〈避難訓練〉

6/24、11/24（福山市総合防災訓練に参加）、 1/20

◎事務部

〈事務処理〉

- 3/30 常勤職員を全員集めて来年度に向けての打ち合わせを17:40より松永作業所にて実施した。
- 4/ 1 松永作業所に常勤職員として福田俊明さん、パート職員として1名を採用した。デイサービスセンターさぽーとに常勤職員として1名を採用した。
- 4/ 4 福山労働基準監督署へ36協定書を提出した。
- 4/22 徳島作業所にパート職員として岡枚子さんを採用した。
- 6/ 3 監事2名による業務と会計監査が行われた。
- 6/ 3 内部監査人の理事石川美鈴氏による内部調査が行われた。
- 6/24 評議員会を実施した。
- 6/25 広島法務局へ資産登記の変更と理事長の重任の届け出を行った。

- 7/13 ふようの家まつりを行った。
- 7/22 相川経営事務所の所長相川さんと介護労働安定センターの後藤さんが来られ雇用管理改善推進事業の提案を受ける。デイさぼーとで対応する。
- 9/3 パート職員として看護師の松本智恵さんをデイさぼーとにて採用した。
- 9/9 指名建設工事請負業者12社に指名のFAXを送信する。
- 9/11 指名建設工事請負業者12社に工事資料を松永作業所に受け取りに来てもらう。
- 9/30 西部市民センターにて入札を行った。
- 10/1 グループホームさぼーとの建築請負契約の締結を憐オキと行った。
- 10/7 グループホームさぼーとの建設工事地鎮祭が行われ、
- 11/28 福山市福祉総務課による法人の指導監査があった。
- 12/13 福山市福祉総務課より法人指導監査結果が別紙のようにあった。
- 12/31 デイサービスセンターさぼーとのパート看護師1名が退職した。
- 1/8 福山市障がい福祉課のグループホームさぼーとの工事中間検査が行われた。
- 1/8 デイサービスセンターみらくるにパート介護職員として1名が採用された。
- 1/8 グループホームさぼーとの施設整備工事の福山市中間検査が行われた。
- 1/15 全国健康保険協会広島支部による被保険者を対象としたメンタルヘルスに関する講話を株式会社 三十八花堂 保田 厚子さんより松永作業所多目的室において参加者15人で話を聞いた
- 1/24 福山市介護保険課より2019年12月26日に行われたデイサービスセンターみらくるの現地指導の結果通知が届いた。別紙のとおり文章指摘があり改善した。
- 1/29 福山市福祉総務課より「社会福祉法人及び社会福祉施設における運営適正化について」の通知が届いた。別紙資料を説明した。
- 1/30 福山市障がい福祉課より2019年度社会福祉施設等施設整備費補助金の決定通知が別紙のとおり届いた。

〈理事長職務執行状況〉

別紙資料に沿って説明した。

〈役員研修〉

広島県社会福祉協議会 社会福祉研修センター主催で1/30に「社会福祉法人理事・評議員研修」、1/31に「社会福祉法人監事研修」が行われ理事 井出和人と監事 堀部弘幸が参加した。別紙資料において報告がされた。

〈保護者会〉

- 4 / 6 保護者定例会が行われた。
- 6 / 1 保護者定例会が行われた。
- 9 / 7 保護者定例会が行われた。
- 11 / 2 保護者定例会が行われた。

1 監督職以上を除く任免について（臨時職員除く）

該当なし

2 職員の日常の労務管理・福利厚生について

氏名	変更日	変更内容
野坂美香	2019.12.24	産前産後休暇
	2019.3.2	育児休業
	2020.1.5	短時間勤務
佐藤有子	2019.4.1	非常勤職員から正規職員へ

3 債権の免除・効力の変更について

社会福祉充実計画作成 残額 34,170,000円

4 設備資金の借入に係る契約であって予算内のもの。

該当なし

5 建設工事請負や物品納入等の契約締結に関すること。（一件1000万円以下）

事業所	月日	内容	委託先	金額
松永作業所	1月9日	車 ホンダ・ゼスト	(株)来山自動車	170,000円
デイサービスセンターさぼと		ラインポンプ取替工事	中根電機工業(株)	108,000円

6 運用財産処分について（一件100万円未満）

該当なし

7 予算上の予備費の支出について

該当なし

8 寄付金の受け入れについて

月日	受け入れ事業所	件数	金額
2019.4.6	本部	2	10,000円
2019.12.9	本部	1	2,000円

9 収入（寄付金を除く）について

事業所	11月から3月	4月から12月
	CF=事業活動収入金額（円）	CF=事業活動収入金額（円）
本部	191,192	835,569
松永作業所	31,188,916	59,365,549
徳島作業所	9,095,643	18,660,879
相談支援事業所さぼと	2,318,301	4,289,383
GHびすけっと	2,540,995	5,297,710
デイサービスセンターさぼと	11,778,753	18,003,923
デイサービスセンターみらくる	6,297,600	13,650,994
GHさぼと		1
居宅介護支援事業所	2,225,024	4,482,318
共生ホームさぼと	2,577,560	5,203,472
合計	68,213,984	129,789,798

10 役員の旅行命令について

氏名	出張日	研修内容	場所
井出和人	R2.1.30	社会福祉法人監事研修	県民文化センターふくやま ホール
堀部弘幸	R2.1.31	社会福祉法人監事研修	広島市東区民文化センター

11 職員の服務に関する諸願いの許可又は承認について。

氏名	申請日	承認期間	就業先	副業内容
森迫一成	2019.4.10	2019年4月1日から2020年3月31日	個々受任	成年後見人活動

12 職員の通勤手当等の承認及び支給決定について。

月日	氏名	距離	支給の有・無・変更
2019.4.1	福田俊昭	0.153km	無
2019.4.1	佐藤有子	2.6km	有
2019.4.1	増村弘子	11.1km	有
2019.4.22	岡牧子	1.6km	無
2019.8.8	野坂美香	4.7km⇒11.3km	変更
2019.9.3	松本智恵	26.6km	有

13 職員昇給・昇格について。

昇給	月日	詳細	
	2019年4月1日	昇給支給金額総合計	30,444
		昇給支給対象者	17人
		一人平均昇給金額	1,691

昇格	月日	氏名	事業所	役職名
	2019年4月1日	井出智大	デイサービスセンターさぼと	管理者

14 各種証明書の交付について

氏名	月日	目的	証明内容
瀧安雄太	2019.3.12	介護支援専門員受験	実務経験証明書

15 行政官庁からの照会（定例又は軽微な事項は除く）

月日	事業所	行政官庁
2018年12月25日	社会福祉法人芙蓉の家理事長	福山地区ケアマネジメント研究会
内容	合同研修会における貴職員講師派遣について（依頼）	
2019年7月30日	社会福祉法人芙蓉の家理事長	社会福祉法人尾道さつき会
内容	令和元年度広島県相談支援従事者初任者研修後半 ファシリテーターについて（依頼）	
2019年12月4日	社会福祉法人芙蓉の家理事長	広島県知的障害者福祉協会 人材育成・研修部会
内容	2019年度第8回「元気をはぐくむ、新任職員基礎講座」（依頼）	
2019年12月4日	社会福祉法人芙蓉の家理事長	社会福祉法人尾道さつき会
内容	令和元年度広島県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者更新研修 ファシリテーターについて（依頼）	

2019年度 松永作業所事業報告

年度当初 47 名（定員 40 名）でスタート。7 月に 1 名増え年明け 2 月に 1 名退所で同数となる。利用者総数 11,309 人、1 日利用者平均 42.0 名、月延べ平均 942 人、年間平均利用率（契約者総数に対しての出席率）は 88%で昨年度利用者総数 11,207 人、1 日利用者平均 41.7 名より増加。要因としては長期欠席者の出席増や新たな行事を取り入れ通所意欲が高まった事などが考えられる。

送迎対象者は 22 名で送りのみや季節・天候、家族要望時などニーズに応じて送迎を実施した。

就労支援に関しては利用者本人・家族のニーズに沿った社会的自立と自己実現に向けて、一般就労希望者に対して「就労支援セミナー」を継続的に実施。企業にて職場実習に望んだが今年度は就職者は出なかった。引き続き、昨年度就労者 2 名には出荷に併せて職場訪問を実施して就労・出勤状況を確認しながら職場定着を図った。

生産活動では年末まで作業量が伸びず、夏のボーナスが支給できず冬のボーナスは減額となり年間平均月額工賃 10,299 円と昨年比 610 円の減額となった。反面大きな収入源である外作業のラベル剥し作業量が回復しなかったものの自主作業の菓子製造が昨年度 3 倍増となり、10 月より新たに始めた資源回収や年明けからの食品袋詰め作業量維持により年間総収入約 737 万円となり昨年度比約 50 万円増となった。何より年間平均月額工賃 1 万円以上が確保でき来年度も同額の訓練等給付費（報酬）を得られる事になった。

グループ別活動では調理実習や作業後の清掃・洗濯などを継続的に行い、地域生活力を高めていき、季節に応じた新たな行事や呉への日帰り旅行など様々な生活体験機会を増やして気分転換や活動意欲の向上を図った。

松永小・中学校との交流会や体験学習の機会、ゲタリンピックなどの地域交流行事や「わいわいフェスタまつなが」などの開催により知的障害者に対する地域の方々への認知・理解の一助になったと思われる。また、地域の社会資源・福祉拠点として大学の福祉実習生や教員を目指す職場体験者を数多く受け入れた。

外部研修に参加して福祉職員としての専門性を磨く中で、強度行動障害研修では参加直後に利用者支援に活かして行動障害の軽減が図れた事で、利用者処遇に関係する研修の必要性を認識し直す機会となった。また、伝達研修を行う事を必須としパート職員含め職員全体への周知・還元を図った。

年度末には自己評価による「福祉サービス第三者評価」（利用者向け）を全利用者対象に実施して普段の支援内容を見直す良い機会となった。

今後も利用者・職員が協力しながら意欲的に作業に取り組める環境を作り、利用者が様々な体験の機会を得られるように努めていく。

2019年度 徳島作業所 事業報告

2019年度の徳島作業所として、基本報酬減をカバーできる利用者人数の増加、全利用者の工賃アップ、土曜日の日課充実、地域に根差した活動を重点課題として取り組んだ。

2019年度新規契約人数は4名であったが、うち2名は定着することができず年度内の解約となり、契約人数としては23人となっている。新規利用者に関しては4名中3名が他事業所からの紹介で契約しており、また身体障がい者の受け入れも始めたことで問い合わせ等も増えてきているので、今後も相談支援事業所さぼーと含め他の事業者とも連携しながら窓口を広く持つておきたい。

今年度から平均工賃月額区分が5から6に変更になり、基本報酬の減額分を補うことができるよう利用人数の増加に向けて取り組んだ。具体的には賞与規定を変更し、支給金額の倍増、支給要件を来所日数から作業時間に変更し作業を行った分だけ多くの収入が得られることを提示することで、仕事をする事への楽しさと収入を得る喜びを感じることができるよう努め賞与アップに向けての利用促進を促した。それに伴って作業量の増加にも取り組み、仕事をする責任や自覚を促し、作業所が生活リズムの一部になれるよう声かけに努めた。また精神不安定等による長期欠席防止のため、より細やかな支援を行うことができるよう職員同士のミーティングの充実や支援に対しての情報共有、検証を徹底した。その結果として利用人数としては対前年比120%増の3,602人、月平均52人増となった。授産活動収入については対前年比120%増の2,610,000円、支払い工賃は対前年比150%増の約1,960,000円だった。支払い工賃は増加したが、支払い人数が増加したため平均工賃は前年より約300円アップの約7,500円にとどまり、全利用者の工賃アップも達成できなかった。また長期欠席利用者の継続利用に関しては達成できず今後の取り組み課題となっている。

次に、前年度からの課題であった土曜日の利用増加に向けての日課充実については、毎月誕生日会を兼ねての調理実習を行うことで、利用者の楽しみも広がり前年度の平均利用8.1人から9.2人に増加したが、行事を行った日の出席率よりも作業を行った日の出席率のほうが多く、作業を希望する声も聞かれたので、行事主体で検討していた土曜日の日課については作業メインで行うことを含め柔軟に検討していきたい。

また、地域に根差した活動として、今年度は大成館中学校のチャレンジウィークで2名の生徒の受け入れを行った。利用者から新鮮でよかった等の意見も多数出たので、今年度も続けていき、地域に根差した社会福祉法人としての活動を引き続き行っていきたい。

1年を通して安定した利用人数ではあったが、精神的に波がある利用者も多く長期欠席につながることも想定されるので、今後もより細やかな配慮を行い、各利用者の居心地の良い場所として、また仕事することに喜びを感じることができ利用する価値のある作業所となれるよう日々の業務にあたっていく。

2019年度 相談支援事業所さぼーと事業報告

1. 契約者について

今年度は6名と新規契約を結んだ。14名のサービス中止や介護保険への移行などを経て年度当初、173名であった利用者は165名となっている。

2. 計画相談支援業務について

計画相談の一連の流れの中で、本人や家族に状況変化があった場合など必要に応じてニーズや課題を考慮しながらサービス等利用計画の変更等を行ったが、対応可能なサービス提供事業者がなかなか見つからないケースもあり広い視野での社会資源の開拓や先を見据えた支援の必要性を感じた。

モニタリング実施期間短縮により一人当たりとの面談機会が増える中、困難ケースへの対応や各種相談対応への時間確保の重要性が高まっている。

65才を迎え、介護保険サービスに移行していくケースに関しては、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）と連携し、利用者・およびその家族に負担・不安のないように配慮した。

3. 来年度について

相談支援専門員1人あたりの標準担当件数が設定されている事もあり、新規契約については慎重に検討していく必要がある。

利用サービスによってはモニタリング実施標準期間の短縮が完全施行となっているため、より細かい対応が必要となるケースが増えつつあるが、関係機関との連携を継続しながら支援を行っていく。

引き続き本人や家族等の状況把握に努めるとともに、一人暮らしで食生活などに支援が必要な利用者に対して、居宅支援（ヘルパー）の導入を促したり居住先の情報提供などを実施していく。

2019年度 グループホームびすけっと 事業報告

開設 3 年目を迎え、利用者は共同生活の場であるグループホームで落ち着いた生活を営むことができた 1 年だったように感じる。

業務内容に大きな変更点はなく、前年同様日常の体調管理や服薬管理、掃除洗濯等の声かけなど必要な支援を適時行ってきた。大きな緊急対応等もなく落ち着いて生活できていたように感じる。今年度は余暇活動の充実を図るべく、動物園や紅葉など季節を感じられる行事や利用者の嗜好に合わせた行事を行った。いつもとは違った場所への外出が出来て楽しかったとの声もあったので今後も続けていきたい。また、日常生活の中で生じる問題やトラブルに関してもその都度対応し、月に一度の世話人会議でそれらの情報を共有し、適時支援が提供できるよう意見の交換を行った。町内会行事等地域活動にも極力参加するようにし、地域交流も図った。年間 2 回の避難訓練は地震火災を想定して行い、福山市の一斉防災訓練にも参加し津波等の想定をしたうえでの避難訓練を実施した。また、緊急避難情報等の発令に際しての動きを作成し、警戒レベル 3 の発令により世話人と管理者の連絡徹底を図り、実際 8 月の大雨の際の避難情報発令時にはマニュアルを基に情報の共有がきちんと行えた。職員が不在の時間帯もあるので、各利用者への防災意識の徹底も日常業務の中で行っていきたい。

1 月には利用者が非常階段付近で物を燃やすという事態があり、協議の結果年度内での退所となった。ひとつ間違えると他の利用者の命にもかかわることであり、再発防止に努めるとともに、全館禁煙等の検討もしていきたい。

今年度は職員の変更等もあり業務内容の把握や連絡等の不備もあった。また、業務上あいまいな部分やマニュアル化できていないこともあり、再度業務の見直しを行うことが必要であると感じた。来年度は業務の見直しを行い、必要に応じてマニュアル等の作成も行うようにしていく。

2019年度 デイサービスセンターさぼーと 事業報告

◎ 事業の目的に対して

利用者・家族の望む生活の実現に向けて居宅サービス計画書をもとに地域での生活が維持出来るよう、生活意欲の向上を念頭にニーズの把握、残存能力の維持・向上に努めた。

◎ 利用者の推移

契約者数 23 人（2019 年 4 月時点）→20 人（2020 年 3 月時点）。

新規利用者総数 11 人（外ケア 9 人/内ケア 2 人）。

体験利用者総数 16 人（外ケア 13 人/内ケア 3 人）。

契約終了・中断者総数 14 人（外ケア 9 人/内ケア 5 人）。

◎ サービスの内容について

定員 18 人という小規模という特性を生かし、地域で生活できるように本人・家族のニーズに応えられるように努めた。入浴の時間、トイレへの誘導、レクリエーションへの参加などでは、個々の状態に合わせ、個別な対応ができるよう努めた。特に行事には力を入れ、利用者が非日常を体験でき、単調な日々の生活に刺激を与え在宅生活を充実したものになるように努めた。

◎ 来年度に向けて

「心身ともに元気になれる」を目指す。小規模事業所ならではの利用者との密な関係性の構築、行事ごとに力を入れメンタル面での充実をし、外部機関の監修・運動器具の導入によりフィジカル面での強化を行っていく。

給食を内部でまかなう形になったので、品質を落とさず店屋物などを取り入れながら、バラエティーに富んだものにし、強みの一つまで昇華していく。

新型コロナウイルスの影響が長期化することを考慮に入れながら福山市の指示のもと、利用者の在宅生活に支障がないような柔軟な対応を取っていく。

さぼーと・みらくる・居宅とそれぞれの狙いを明確にしなが、お互いが補完できるような運営を行っていく。

平成 31 年度

デイサービスセンターみらくる

事業報告

4月は月延人数161人からのスタートとなり年間月平均163人。10月は月192人で最高月でした。31年度は新規の利用者が6名で今もご利用されています。また利用終了者が3名でした。今年度も冬季になっての体調不良などによるお休みの方は少なく安定していた。目標の1日利用平均8人は8月(8.63人)9、10月(8.3人)。後の月は7人台で6人台になる事はなかった。

職員体制のため外食行事も困難で、アリスジャパンからの協力のもと吉野家の牛丼・ウナギ丼を昼食として提供した。喜んでくださる利用者が多く、今後も室内での行事食も検討していきたい。

他の居宅介護支援事業所や地域包括支援センターとの連携では、今後も密に連絡のやり取りを行い、信頼関係を築いていきたい。

また、31年度も運営推進会議を年二回(9月、3月)開催する予定ではあったが3月は「新型コロナウイルス」の関係で中止した。9月は地域の方や民生委員、利用者家族に参加して頂け、地域や家族へ開かれた事業所として来年度も運営していきたい。また、たくさんの地域の方にみらくるの事を知って頂くためにも出来るだけ活動していきたい。

12月26日には福山市の実施指導があり、指摘事項は1つで文章により報告しました。

今年度も職員体制では、補充が必要な曜日もあり、みらくる・さぼーとで調整してきたが、来年度もデイサービスセンターさぼーととの連携を密にして、早めの対応と協力体制が必要となる。

2019年度居宅介護支援事業所さぼーと事業報告

1. 居宅介護支援について

I. 登録者及び給付管理

本年度はケアマネ2名（常勤1名、非常勤1名）で、常勤換算1.2人の体制で実施。3月末の登録（契約）者数は要介護者35名、給付管理者数は31名、要支援者16名、給付管理者数は15名となっている。1年を通じて死亡、入所等で終了者が12名となったが、新規利用者は15名あった。

II. 居宅介護支援業務等について

本年度も独居に加え生活困窮している利用者を支援する為、包括支援センターや行政、社会福祉協議会などの関係機関と連携し支援を実施した。これは国の推進する「地域包括ケアシステム」とも重なっており、利用者が地域で生きていく一助として居宅介護支援を実施した。

2. 介護予防について

積極的に包括主催の研修や地域ケア会議に参加していき、包括職員や地域の民生委員と連携を深め、積極的に予防プランを受託し、地域の中での役割を果たせるよう努力した。その中で包括支援センターより新たな要支援者、要介護者の紹介を受けた。

3. 来年度について

利用者個々の状況を総合的に勘案し、包括支援センター、関係機関、関係事業所、地域などとの連絡・連携を深め、高齢者が地域で長く生活してもらうために、しっかりとした居宅介護支援を実施していく。

2019年度 自立支援型共生ホームさぼーと事業報告

1. 状況報告

しばらく1室が空いていたが、12月に1名(男性)の入居があり満室となった。新規入居者については順応も早く他の入居者とのコミュニケーションも良好である。

2. 既入居者に対して

女性入居者が1名しかいない中、浴室が男女別になっており男性入居者が順番を待たないといけない状況となっていたため、2つある浴室をどちらも男女共用とした。男女別を無くした認識は浸透しつつある。寒い時期にも快適に入浴出来るように脱衣場にヒーターを設置した。

入居者は全般的に変わりなく過ごされており、ホーム内では生活上のトラブル・困り事もあまり見られなかった。

3. 清掃業務について

パート職員及び松永作業所メンバーによる週に数回中庭やベランダ洗浄、共有スペースや浴室、ゴミ箱管理など業務分担にて清掃を実施。4Sチェックリストを基本に別のリストを使って日々の業務を実施してもらった。

4. 来年度に向けて

各入居者について定期的に生活状況の確認を行うとともに、普段からコミュニケーションを行いニーズや困り事があった場合、適切な対応に努めることで満室の状態が続くように取り組んでいく。